
トラ太郎

あくあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トラ太郎

【Nコード】

N1116B

【作者名】

あくあ

【あらすじ】

ある日、猫のコロンは言葉を話した！！！！！！

（前書き）

意味不明で始まり意味不明で終わるので、はっきり言って読まない方があなたのためかもしれません。

目が冷めたら、猫が喋ってた

「なんだよ太一。こつちみんなよな。」

この猫は…ウチで飼ってるコロンという雄猫だ
どいうわけか、昨日までは普通に「にゃー」とか

「うにゃー」とか猫語？を喋ってたのに

なんだって今日は人間語（しかも日本語）を喋るんだ？

100年に一度の日本語Dayとか？

まあ英語じゃないだけ助かったけど…

ああ…俺は頭がおかしくなってきたみたいだ…

とりあえず俺の布団の上でうずくまってるコロンに
事情を教えてもらうとするか

「なあ…コロン…」

「おれあコロンなんて名前じゃねえんだよ!!」

ああ…コロンが逆切れした…

お前はコロンじゃないのか？じゃあなんなんだ

「名前は何て言うの？」

「コロンってお前らは言うけど、俺の名前はトラ太郎だ。」

猫なのにトラって…しかも太郎って…日本人か!!

でもまあとりあえずゴメンだ。

「あ…ゴメンよトラ太郎…勝手に芸名付けちゃって…」

「猫語がわからねえおめえらにやあしょうがねえこった。」

あ。なんか太郎っぽいかも。時代劇に出てくる人みたいで…
そんなこといいから本題を聞かなくちゃ！

「ねえトラ太郎…何で今日、日本語を話してるの？」

「あん？そんなことあ太一にやあ関係ないわ！！」

困った…どうしたらいいんだ…？

ていうかそんなことより、トラ太郎の下布団の下は俺のお腹だ
結構きつい。そろそろ降りて欲しい

「トラ太郎…あとで事情を聞くから…とりあえずリビングに行こう
よ。」

「ん…腹も減ってることだしにやあ。」

にやあって！！猫に戻りつつある！？

やばいやばい。あ。お腹楽になったよ…ふう

「かあさんおはよう。」

「あら太一。おはよう。」

「かあさん。いつもの。」

「は？」

トラ太郎！！！！かあさん倒れる！！

「iiiiiiii…いつもの！！真っ白いご飯ちようだい！！」

「え…ええ…ちょっとまってね。今作ってるから…」

「それとトラ太郎にはキャットフードをあげて。」

「トラ…？誰の事よ。キャットフード食べるのはコロンよ？」

ゴメンかあさん…コロンはトラ太郎って言っただ
コロンって言うトラ太郎が…ああ怒ってる…

「俺はあトラ太郎じゃあああ！！！！」

「きゃあああああ！！！！」

トラ太郎…かあさんの足にしがみついて猫キックしても
さっっぱり痛くなさそうだよ…

「トラ…太郎…」

しかしかあさんはバツタリ倒れてしまった
トラ太郎…そろそろ説明してくれ…

「俺はお前に言いてえことがあるんだ…」

かあさんがキャットフードをくれなかった（出せなかった）ので
俺の朝ご飯のサンマを食べながらトラ太郎は話し始めた

「え…何？もしかしてそのため？」

「ああ…」

トラ太郎…いつも何時間も寝て、たまに起きたかと思うと
ご飯を食べるだけで動くことも少ないお前が…
一体俺に何を伝えたいと言っんだ

「あのな…」

「うん。」

「明日…お前は大けがをする。」

え！…！そんな…どうしたらいいっていうんだ…！
トラ太郎…！そんな大事なこと…

「回避する方法はない。」

「え…？」

「やばい…にえこに戻ってきたにやあ…」

「と…トラ太郎…！…！」

「じゃあにやあ…」

「と…」

「にゃあゝ…」

お前は一体何のために日本語を喋っていたんだ…

まあ変わったことといえば、次の日から皆がコロナのことを
トラ太郎とちゃんと呼んだことだ…

俺は次の日、ちゃんと3針を縫う大けがをした。

（後書き）

ほら…読んでかなり後悔したでしょ？泣

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1116b/>

トラ太郎

2010年10月17日08時09分発行